

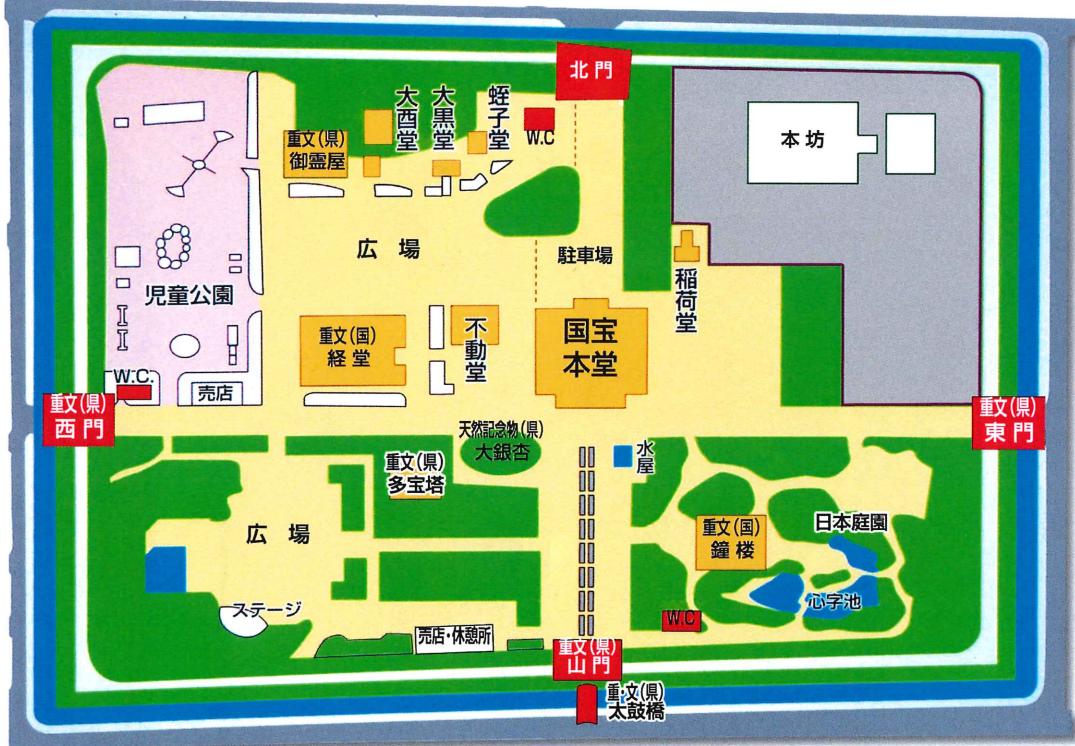
だい にち えん

大日苑散策マップ

● 大日苑の概要 ●

12世紀後半に足利氏が築いた館跡が現在の大日苑（鎌阿寺）で、現在も残る濠と土塁にその様子をうかがうことができます。鎌阿寺の創建は足利氏の礎を築いた2代目足利義兼が館の一角に持仏堂を建てたのが始まりと伝えられ、以後足利氏の氏寺として関東を護持する祈願寺として繁栄してきました。その後、大正11年に国指定史跡に指定され、平成25年8月には本堂が国宝に指定されました。

苑内は、春は桜、秋は銀杏の黄葉がすばらしく、市民には昔から『大日さま』と呼ばれ親しまれています。



大銀杏



太鼓橋

● 境内の建物 ●

○ 鎌倉時代の建物

本堂、鐘楼、東門、西門

○ 室町時代の建物

一切経堂、山門（仁王門）

○ 江戸時代の建物

多宝塔（再建）、御靈屋（再建）、校倉（大黒堂）

太鼓橋、蛭子堂、大酉堂、北門

○ 明治時代の建物

水屋、本坊（庫裡）、稻荷堂等

● 問い合わせ ●

足利グリーンサービス 株式会社

織姫公園管理事務所 TEL 0284-22-8256